

先週末までのマーケット動向(6月7日~6月10日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,255.0	1,268.9	1,253.1	1,268.9	+26.2
JPY/KRW	9.4939	9.5028	9.3445	9.4751	▲0.092
KOSPI	2,659.27	2,662.04	2,583.74	2,595.87	▲74.78

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は大きく上昇した。3日に発表された5月米雇用統計は労働市場の圧迫と平均賃金の上昇を示唆するものであったことから、週末にかけドル買いが進行し、7日は1,255.0にてオープン。8日、9日にかけては目立った材料なく、ドル/ウォンも1,250台後半にて動意に乏しい展開となった。9日のECB会合では、市場の予想通り7月のQE終了と利上げ開始を示唆。一部市場関係者は9月以降に50bpの利上げがあると予想される内容であったことに加え、10日発表の米5月CPIへの警戒感が大きく広がると、9日海外時間に米株が大きく下落し、リスクオフ的なドル買いとなった。10日は、米CPI発表を前に韓国株は買い控えられ、ドル/ウォンは小幅ながらも底堅い展開が継続した。結局、先週末対比26.2ウォン上昇した1,268.9ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上昇する展開を予想する。先週末に発表された米5月CPI(結果:前年比8.6%、予想:同8.3%)は予想以上の上昇となり、改めてインフレ圧力が根深いことを示す内容となった。これを受け、米株は大きく値を崩し、市場は再びドル買い一辺倒となっている。ドライブシーズンを前に原油価格が反落する可能性は低く、韓国では経常収支の悪化と外国人投資家による株売りが意識され、ドル/ウォンを底堅くさせよう。FOMC(16日)ではFOMC参加者による今後の利上げ推移が示される予定であり、こちらもドル/ウォンの上昇要因となろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1260 ~ 1290	9.30 ~ 9.60	134.0 ~ 136.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 14日(火) 日 4月 鉱工業指数 確報値
米 5月 PPI
- 15日(水) 日 4月 機械受注
韓 5月 失業率
米 5月 小売売上高
米 6月 NY連銀製造業指数
中 5月 鉱工業生産
中 5月 小売売上高
米 FOMC 政策金利発表
- 16日(木) 米 5月 住宅着工件数
日 5月 貿易統計
- 17日(金) 米 5月 鉱工業生産
欧 5月 CPI 確報値
日 BOJ 政策金利発表